

球

三年

画数 11
筆順

王 玊 玊 球 球
オン キユウ
クン たま

成り立ち



毛がわのがいの形の形をあらわし、「ほしがかり求める」といういみをあらわした「求(年485)」と、宝玉をつなげた形をあらわして、宝玉のいみをあらわした「王」とを組み合わせて作った字で、「だれもがほしがかり求める宝玉」といういみの字です。

寶石は、多くが「まんまるい玉」のかざりものに作られましたので「宝玉」の「玉」の字と同じように、「まるい玉」のいみにつかわれるようになり、今では、「まるい形」といういみにつかわれ、また、「まるい形をしたもの」といういみにつかわれます。例地球、気球。

使い方

▽おにいさんとぼくは、キャッチボールをしました。球が落ちて、ころがって行ってしまったので、あわてて追いかけてました。

▽地球は、球形をしています。むかしの人は、地球は平たくて、そのはしは滝のように、海の水が落ち込んでいると考えていたこともありましたが。

熟語例

▽地球(われわれが住んでいる、この惑星。丸い球の形をしているので、地球と呼ばれているのです。)

▽気球(熱した空気や、空気より軽い気体を入れた、丸い球。空に浮かべるためのものです。)

▽球根(球のような丸い形。)

▽球根(球のように、丸いかたまりになった、植物の根。「チューリップの球根を植えておいたら、きれいな花が咲いた」などというふうには、つかいません。)

▽球技(球を使ってする競技。野球や、バレーボール、サッカーなどを球技といいます。)

▽球場(「野球場」のことです。野球をする場所。)

去

三年

画数 5
筆順

十 土 去 去
オン キヨ・コ
クン さいる

成り立ち



ふたのあるうつわの形をあらわした字。うつわをつかうときには、かならず、ふたをとってつかいますので、「とり去る」といういみをあらわしました。例撤去、除去。「立ち去る」といういみにもつかいます。例退去、辞去。

「すぎ去る」といういみにもつかいます。例過去、去年、去日。

また、「亡くなる」といういみにもつかいます。例死去、逝去。

使い方

▽「去る者は、日々にうとし」ということばがあります。死んでしまったり、遠くはなれてしまったりした人は、しだいに忘れられてしまふ、という意味です。

▽旅の坊さんは、村の人々を助けると、どこへともなく立ち去りました。

熟語例

▽撤去(取り去ること。とくに建物など、大きなものを取り去る時に、つかいます。「不法建築物を撤去する」などというふうには、つかいません。)

▽除去(除き去ること。取り除くこと。「障害物を除去する」などというふうには、つかいません。)

▽退去(立ち去ること。)

▽辞去(あいさつして、立ち去ること。)

▽過去(過ぎ去った時。「過去を語る」などというふうには、つかいません。)

▽死去(亡くなること、死ぬこと。「〇〇君のおとうさんは、きのう死去された」などと、つかいません。)

▽逝去(「死去」と同じ意味です。死ぬことを、ていねいに言うことばです。)

使い方

▽「去る者は、日々にうとし」ということばがあります。死んでしまったり、遠くはなれてしまったりした人は、しだいに忘れられてしまふ、という意味です。

▽旅の坊さんは、村の人々を助けると、どこへともなく立ち去りました。

熟語例

▽撤去(取り去ること。とくに建物など、大きなものを取り去る時に、つかいます。「不法建築物を撤去する」などというふうには、つかいません。)

▽除去(除き去ること。取り除くこと。「障害物を除去する」などというふうには、つかいません。)

▽退去(立ち去ること。)

▽辞去(あいさつして、立ち去ること。)

▽過去(過ぎ去った時。「過去を語る」などというふうには、つかいません。)

▽死去(亡くなること、死ぬこと。「〇〇君のおとうさんは、きのう死去された」などと、つかいません。)

▽逝去(「死去」と同じ意味です。死ぬことを、ていねいに言うことばです。)